

『第21回 とっておきの音楽祭』 2022年6月5日(日) ぶらり訪問記

ステージ 仙台市市民広場・定禅寺通り・勾当台公園・元鍛冶丁公園・錦町公園など

14ステージ140グループ参加(予定)パンフレット記載より

関東アコニュース読者の鈴木達哉さん(本年1月31日発行のニュースで紹介のアコーディオンサークル「Ne!風琴」のメンバー)から、“とっておきの音楽祭に出場決定”のメールをいただきました。また、当日の別のステージになるけれど「matzo&コマツツォ」(「JAPC アコーディオン夏祭り2019」を取材した際の感想を、2019年10月30日発行のニュースの中で紹介している)さんが出場するとの情報でした。

「Ne!風琴」の鈴木さんは、かつて関東アコの伴奏講座に参加したこともある方で、機会があれば生演奏を聴いてみたいとかねてより思っていました。もう1つの「matzo&コマツツォ」さんもJAPCでお会いした方なので両方の元気な姿を観たくなり、まだ梅雨入り前の一日、天候も良かったので出かけてみました。

会場は仙台、筆者の地から新幹線を利用し
ても3時間ほどかかります。

現地でいただいたパンフレットを見ると、ステージが14用意されていて、すべて午前10:00開始でした。筆者が現地の公園に着いたのは13:30頃でしたので、前半はどこのステージも観ていません。

教えていただいた「Ne!風琴」は、(ステージ14 錦町公園で16:00~16:30)、それと「matzo & コマツツォ」さんは、(ステージ8 オデッセウス像前で16:25~17:05)、この2カ所の確認にあちこち歩いてちょっと落ち着き、先に始まる「Ne!風琴」のステージ14 錦町公園に戻ってきたのは14:00近くだった。

それぞれのステージで多少の時間にずれはあるようだけれど、1団体30分程度の持ち時間で、入れ替えに15分取り進んでいた。

すべてのステージで重なっているため、いろいろと聴き歩くのは難しい。今回は、アコーディオン演奏の入る二つのグループの紹介がメインですが、通りがかったステージのいくつかに立ち寄ったので前半で少し紹介してみます。とっておきの音楽祭のイメージが少しつかめるかもしれません。想像してみてください。

途中でいただいたパンフレットに載っていましたが、どこのステージでも、団体の紹介や

コメントの紹介に手話通訳がついていて、この音楽祭の運営に感心しました。大勢のスタッフをまかなうためでしょうか、どこのステージにも募金箱が置かれていて、司会者が趣旨を説明してカンパを呼びかけていました。(写真①)



会場最寄りの勾当台公園駅(仙台駅から市営地下鉄南北線で2駅)で下車し地上へ出てすぐ目についたのは、オーケストラ風木管、金管の演奏だった。(写真②)。



そして、まず目当ての会場2つの場所を確認しながら原稿に使えるような資料にと通りすがりのステージの様子や彫刻を写真に収めてきた。オデュッセウス像（写真③、定禅寺通りの中央分離帯が公園のように作られていて所々に彫刻が置かれ憩いの場所になっていた）。



3



4

同じ通りの別の像「夏の思い出」（写真④）。4番ステージ（勾当台公園内）で見つけた像（題名は見当たらない写真⑤）。



5

舞のようなステージも（写真⑥）。



6

再び駅前に戻ってきて、太鼓の演奏（写真⑦）。4番ステージではクラーク記念国際高等学校の生徒さんたちの合唱でした（写真⑧）。

ゴスペルでまとめたステージもあった。（写真⑨）



7



8



9



さて、目当ての演奏会場に戻って、鑑賞した「けやきコカリナ青葉の風」（写真⑩）から紹介します。配っていたチラシより転記すると、

□宮城県子ども・おやこ劇場は、仙台市から地下鉄東西線工事のために伐採されたケヤキの譲渡を受け、木の楽器“コカリナ”を制作。2009年8月に「けやきコカリナ青葉の風」合奏団を結成し、今年8月で13年。児童館や保



10

育園・学校などで出前コンサートやワークショップを行ってきた、とあります。「スワニー河」「翼をください」他、演奏していました。

サークルの方が『森の中で小鳥のさえずりが聞こえてくるような曲で・・・』と話していたらステージ前の芝生にセキレイ（写真⑪）が降りてきた。観客の足下でも気にならないようです。



次は（オカリナグループ）ラピスのみなさん。（写真⑫）「モルダウの流れ」「いい日旅立ち」「あのすばらしい愛をもう一度」など演奏していました。



次の「塩釜コカリナ合奏団」（写真⑬）は「星の界（月なきみ空に・・・）」「モルダウの流れ」「花は咲く」など演奏していました。

そして目当ての1つ「アコーディオンサークルNe! 風琴」の出番です。まず、コロナ禍が少しおさまってきて、ちょっとどこか旅行に出かけたいなあと思っている方も居る

のではないかと、少しでも旅の気分を味わってもらえたら・・・と3曲、「80日間世界一周」「ウンパッパ」「回転木馬」（写真⑭）を続けて演奏したところで代表の挨拶。



紹介すると、□Ne! 風琴はとっておきの音楽祭をメインとして1年活動をしてきて、ここに出ることが目的、“ここで何を弾こうか”というところから一年が始まる。なので、皆さんの前で演奏できることをとっても嬉しく思っています。スタッフのみなさん、聴きにきてくださったみなさんに本当に感謝しています。そんな紹介でした。



続く「オリーブの首飾り」で叩いていたのはカホンだろうか。（写真⑮）その後「韃靼人の踊り」「デイドリーム・ビリーバー」と続き最後は「島唄」。今年は沖縄復帰50年なので最後の曲に選んだとのコメントでした。



三線を弾いている方は、アコを始めて4ヶ月のことです。(写真⑬)



もう1つ目当てにしていた「matzo&コマツツォ」もすでに演奏が始まっているはずなので、「Ne! 風琴」の方は、島唄の途中で失礼してオデュッセウス像前へと移動しました。

何曲目だったのか星野源さんの「不思議」の演奏から聴くことができた。(写真⑭)



演奏者コメント□『2015年だったと思う、初めてとっておきの音楽祭に参加したときに、作詞を提供していただいて自分たちで曲をつけて演奏する企画があって、そのときに作った曲「地下鉄に乗って」(この作詞者が会場にいらしていた)』この思い出の曲を演奏。後打ちの軽快なリズムの曲です。

そして、この音楽祭のテーマ曲になっている「オハイエ」、従来は市民広場で音楽祭の最後を飾る、ステージと観客が一体となって歌う曲で、今回は一堂に集まることができないため、14ステージそれぞれで最後のステージを務める団体はプログラムの中で「オハイエ」を演奏する企画になっていたようです。地元の皆さんはよく知っているのでしょうか、曲に合わせて口ずさみ、手拍子やペンライトを振るように手を振っていました。

そしてメンバーの紹介。

□ドラムスのコマツツォさんは、初参加の時はまだ就学前で、今年小学3年生になりました。さらに今回は妹(小学1年生)がキーボードで初デビュー。3人で弾ける曲はまだ2曲だと紹介していました。会場からは「コマツツォ」「コ

コマツツォ」とあちこちから声援がかかる人気でした。本人たちは恥ずかしがる様子もなく堂々としたものです。(写真⑮)



ラストの「オー・シャンゼリゼ」(写真⑯)では観客がステージ前で踊り大いに盛り上がっていました。演奏が終わると同時にアンコールが湧き上がって最初に弾いたという曲、布施明が歌った「君は薔薇より美しい」をもう一度演奏して、オデュッセウス像前のステージは終了しました。



まだどこかで会えるかな。(記: 乙津)

■以下で関連の動画視聴可

・アコーディオンサークル Ne! 風琴

<https://www.youtube.com/watch?v=zK9LpXQ7jI>

<https://www.youtube.com/watch?v=jDI81tfl7fw>

・「matzo&コマツツォ」

<https://www.youtube.com/watch?v=nTteWMzwzPo>

※関連記事:「you-tube ステージ」(コロナ禍の諸事情で参加できない人のためのステージ)の中に、以前、関東アコに「フレンズ・ドリーム」名で出場されたことのある佐藤さん夫婦の演奏がアップされています。(Bステージの最後)↓

https://www.youtube.com/watch?v=7zy0_d3kGww

注意:アーカイブは6月30日までの予定。

「第36回 ふれあい こんさあと VIVA・ACCORDION」ぶらり訪問記

主催 全関西アコーディオン協会（略称AAA）ふれあいこんさあと実行委員会
協賛 関東 東京 愛知 京都 大阪 和歌山 兵庫 岡山 宮崎の各教室・クラブ・サークル
2022年6月12日（日）13：00 開演（開場12：30） 松原市文化会館

3年ぶりとなる“ふれあいこんさあと”VIVA ACCORDIONは、大阪を会場に毎年開催されてきたアコーディオン仲間の交流する貴重な場で、今年36回を迎えました。

関東アコーディオン演奏交流会発足当時、「関東でも大阪の“ビバ・アコ”のような交流会を開催したいね。」という想いで話し合っていたと聞いています。関東アコは交流しながらもお互いの向上を目指そうと、コンクール形式での開催という違いはあるけれども、“ビバ・アコ”はアコーディオン愛好者の交流の場として大先輩です。9月の関東アコに向けて元気をもらいに聴きに行ってきました。

実行委員長杉村壽治氏のあいさつより。

□ 良い天気にも恵まれました。去年はコロナの関係でできなくて、今年は感染予防をしっかりとやりながらどうにか開催できるようになりました。思ったよりはたくさんの方が参加してくださいましたのでどうぞゆっくり楽しんでください。（拍手）

プログラムは第1部【独奏】、第2部【合奏】、休憩、第3部【重奏・アンサンブル】、ゲスト演奏の構成です。

第1部【独奏】1番目の演奏者、青木実さん（吉田アコーディオン茨木教室）は、京都を中心に喫茶店などで開催される歌う会で伴奏したり、ボランティアで老人ホームでも伴奏していると紹介されて、演奏曲は「ハンガリアンダンス 第5番」。演奏終了後、筆者の席の近くから「アコーディオンは難しいねえ」そんな話し声が聞こえました。

2番目の演奏者、辻井拓人さん（林原響子アコーディオン教室）は、思いつき楽しみたいと紹介され「Isn't she lovely」を暗譜で立奏でした。ウキウキする軽快なリズムの曲で楽しめました。

3番目は欠席のアナウンスで、次は4番目の演奏になります。小野寺彩香さん（松原智美アコーディオン教室）はアコーディオンを始めて10年になるけれどあつという間でした。ここまで続けてこれられて本当に良かったと紹介され、「秋のエレジー」をフリーベースで、「カプリッチオ」はスタンダードで2曲演奏。スタンダードベースは久しぶりなので地獄のような練習だったとのコメントでした。

「秋のエレジー」はフルートを思わせる音色で始まり、次第に森の中へ誘われていくようでした。「カプリッチオ」はテンポが速くなり後半にベローシェ

イクがあったり、確かに相当苦労されたと思う。2曲とも初めて聴く曲で、魅力的な演奏です。客席から「上手い」の声が出ていました。

5番目は第1部の最後で、丸尾知子さん（茨木 吉田親家教室）は、昨年引越し吉田親家先生のレッスンが受けられなくなったけれど、3年ぶりのビバ・アコ開催を楽しみに練習してきたと紹介され、「亜麻色の髪の乙女（演奏者の編曲）「Caminito」の2曲演奏。「Caminito」は杉村壽治先生の編曲で、膝を上手に使って切れの良い素敵な演奏です。

・・・・・・20分休憩・・・・・・

第2部【合奏】の最初（プログラム6番）（どい川文化の会アコーディオン教室）は、コロナ禍で十分な練習ができなく会員も減ってしまった中で3年ぶりの七夕コンサートを行ったと紹介され、「河は呼んでいる（指揮無）」「ボギー大佐（指揮は吉田親家氏）」写真①を演奏。



続く7番（弘龍庵 大阪アコーディオンクラブ）は「およげ！たいやきくん」「Believe」の2曲演奏（写真②）。筆者は幾度かビバ・アコを聴きに來ているけれど、いつも合奏で元気な演奏をされていた小学生、中学生のグループです。プログラムの出演者紹介を見ると小学5年生、6年生、中学1年、OB

と載っています。ピアノ・指揮は大江寿朗氏です。

かつて関東アコに合奏の部で出場されたことがあり今年も元気な演奏でした。「Believe」は、コロナが1日も早く収束すること、ロシアとウクライナの戦争が早く終わることを信じて、地球の未来の扉を開けることを願い演奏したとのコメントです。



②

8 番目（泉北アコーディオンサークル）も長らくコロナ禍で演奏する機会もなくなりメンバーが減り、少ないメンバーで続けてきた。人とのつながりを信じながら一生懸命演奏します。と紹介され、「いのちの歌（アンサンブル）」「ブンガワン・ソロ（指揮は吉田親家氏）」（写真③）の2曲演奏。1曲目は初めて聴く曲です。遠く流れる雲を見つめて大切な人を想うようなしっとりした演奏です。2曲目はギロ、ウィンドチャイムが加わっての演奏です。



③

9 番（奈良アコーディオン愛好会）は、月2回の練習ですがみんなが集まって練習できるようになったのは4月に入ってからで、みんなで演奏できることを今年はひとときわ嬉しく思いますと紹介。「闘牛士の歌（三重奏）」「君恋し（木下そんき編曲）」（写真④）合奏は皆さんマイク無しで演奏されていたけれども、「闘牛士の歌」は三人とは思えない力強い演奏です。



④

10 番（関西アコーディオンクラブ）は、コロナ禍の中で目標も持てずやっこの日を迎えた。弾き合えることを喜びたいと紹介され、「いのちの歌」「明日に架ける橋（中山英雄・木下そんき編曲）」（写真⑤）を演奏。指揮は吉田親家氏、ラストの膨らませ方が素敵です。



⑤

11 番（NHK 文化センターアコーディオン講座）は、京都、神戸、毎日の三つの教室が合同で演奏しますと紹介。「サバの女王」「瀬戸の花嫁（指揮は杉村壽治氏）」（写真⑥）を演奏。皆さんもよくご存じの「サバの女王」は夢の中にいるような気分でした。



⑥

12 番（松原アコーディオンクラブ）は、練習は毎週土曜日 1 時から会場の隣にある中央公民館です。20 年以上のメンバーがほとんどだそうです。元気に楽しく合奏していると紹介。曲は「シルクロードのテーマ（松永勇次編曲）」「八木節（吉田親家編曲）」（写真⑦）を演奏。「八木節」の途中に入る笛のようなソロの音色はとても素敵だった。



⑦

合奏は、どの団体も2曲演奏したので、曲によって背景の照明を変える工夫をされていました。杉村壽治先生、吉田親家先生の編曲が多い中で、関東在住の先生方の名前を編曲者の中に見つけるとちょっと嬉しかったので、いくつか記してみました。

・・・・・・20分休憩・・・・・・

第3部【重奏・アンサンブル】の最初（プログラム番号13番）「ぱすとらあるアコ」は、初出場と紹介。曲は「ロンドンデリーのうた」「G 線上のアリア」（写真⑧）を演奏。「ロンドンデリーのうた」は音の重なりがきれいな演奏です。



⑧

14番（寺村安雄さん、関西ハーモニカ連盟）は、5歳の時大阪市内で空襲の中を逃げ惑い終戦直後拾ったハーモニカが一生の道楽になり、ハーモニカを通して平和運動を行ってきたと紹介され、「禁じられた遊び」（写真⑨）「ダニー・ボーイ」（写真⑩）を独奏された。「ダニー・ボーイ」は母親が戦争に行く息子に、『必ず無事に帰って来いよ』という願いが歌になっていると演奏者はコメントされていました。



⑨



⑩

15番（東住吉ミニルームアコーディオン教室）は、会員は3人ですが一人が腰痛で出られなくなったので三重奏の曲を二人で演奏します。と紹介され、曲は「Chim Chim Cheree」（写真⑪）、「DOMINO」を演奏。息があっていて素敵でした。



⑪

16番（豊中アコーディオンサークル「ポンポコリン」）は「日曜はダメよ」（写真⑫）、「ONLY YOU」を演奏。軽やかな運びでベースパートがきれいに刻んでいて素敵です。「ONLY YOU」は、スイッチを上

手に使ったうっとりする演奏です。身体を左右にリズムをとりたくなります。



⑫

17番（松原アコーディオンクラブ「二重奏」）は、クラブのコンサートで二人で演奏してからデュオの楽しさを知ったと紹介され、曲は「Toselli-Serenade（嘆きのセレナーデ）」（写真⑬）、「それがアコーディオン（山岡秀明編曲）」を演奏。最初の曲は始めて聴くけれどトレモロのきれいな演奏です。「それがアコーディオン」も小川の流れるような演奏でした。



⑬

18番（京阪アコーディオンクラブ）は、第2、第4土曜日に寝屋川市の市民会館で練習していて、11月20日にコンサートを予定と紹介。また、大病をして『アコーディオンはもういいや』と一度は諦めたけれど、同じ楽器を愛する大切な友達とのつながりをもらったとも、そして1曲目は、1音しか出せなかったけど小さな明かりがとまり、歯車が回り出したときの感情に近い曲だったという「いのちの名前」。また、たくさんの人の優しい心遣いに生きているのも悪くないなと前を向くことができたそのときの気持ちに近い曲だったという「What a



⑭

Wonderful World」(写真⑭)を演奏。2曲目は二人の音色の違いが面白い演奏です。

19番(パパガイオス「神奈川」)は、京都から神奈川県に引っ越しさみしい気持ちでしたが3年ぶりのビバ・アコをととても楽しみにしていた。夫婦で出演するのは初めてですと紹介され、「Sin retorno」「Feira de Mangaio」(写真⑮)を演奏。最初のピアソラの曲はパンチの効いた素敵な演奏です。2曲目はブラジルのシヴェーカ作曲で、2曲ともアコーディオン奏者ご自身の編曲です。2曲目は、めまぐるしいテンポの曲で、とっても情熱的な演奏です。



第3部最後、20番(ユニット JAPC「東京」)は、東京から参加した日本アコーディオン振興協議会(JAPC)のユニットで、JAPCでも7月10日に3年ぶりとなる夏祭りコンサートを開くと紹介され、「街角で」「クロードのタンゴ」(写真⑯)を演奏。マイクを使用していたこともあるけれど、2曲とも弾きたくてうずうずしていた想いがバシバシ伝わってくる、はじけたような迫力ある演奏でした。

どの演奏者も、3年ぶりの演奏に選んだ曲への深い想いに、司会の紹介を聞いていて感心しました。



ゲスト演奏 スペシャルゲスト「クレモナ」を迎えて杉村壽治先生との共演。

「91歳になる杉村先生が5人の女性に囲まれて鼻の下を長ーくして・・・」司会の言葉です。プログラムで紹介されているプロフィールから一部転記すると、《大阪の北部、池田市・箕面市・豊中市を中心に活動する女性の木管四重奏団です。アストル・ピアソラの生み出した『Nuevo Tango』を、現代

クラシック音楽のジャンル『モダン・タンゴ』として前進させ世界に広めようとしています。》と記されています。

メンバーは、杉村壽治(アコーディオン)、森脇祐季(フルート)、上野舞子(ソプラノサックス)、松田あやめ(ホルン)、久保田ひかり(ファゴット)で、曲は「カミニート」「夜のタンゴ」「釜山港へ帰れ」「並木の雨」「ラ・クンパルシータ」の順に演奏されました。(写真⑰)



「ラ・クンパルシータ」の演奏のようにフルート⇒ソプラノサックス⇒ホルン⇒ファゴットとパートが順に移っていく編曲は、アンサンブルの醍醐味ですね。タンゴを3曲、懐メロを2曲、約30分ゲストによる演奏を楽しみました。

最後に事務局長、吉田親家氏の閉会のあいさつ。
□久しぶりにビバ・アコが開催できて嬉しいというか、出場者が集まるのかなあと心配しました。出場された皆さん、会館のスタッフの皆さんに厚くお礼申し上げます。と感謝の気持ちと、私の身体の続く限りは続けて行きたい。と熱い想いを話され第36回“ふれあいこんさあと” VIVA ACCORDION は終了しました。(写真、右)



また、司会者から、来年は6月12日(日)この同じ会場で開催すると発表がありました。

ホールのロビーでは、(株)トンボ楽器製作所、株式会社池部楽器店・鍵盤堂による楽器の展示・試奏が行われ、ボタンアコを抱え、ドレミの配列を聞きながら弾いている方も見られました。他に、アンサンブル・ミュージックが楽譜の展示を、また、楽器の修理コーナーNeneroro 岡田さんもありました。

■帰りの新幹線の中でも耳の奥でファゴットが鳴り響いていました。AAA事務局には撮影の許可を頂くなど1日大変お世話になりました。(記:乙津)



横浜アコーディオン愛好会の活動から

「磯子区でアコーディオン体験コーナー」を行う

横浜アコーディオン愛好会は、6月5日横浜市磯子区の「いそご区民活動フォーラム 2022」に「アコーディオン体験コーナー」の企画で参加しました。

32 鍵、21 ベースを中心の小型楽器を総動員し、アコーディオンに直接触れて、その良さを味わってもらおうと、愛好会員が講師役を務め、他の会が補佐役（マンツーマン）で指導に当たり、約2時間半の奮闘で無事終了しました。

募集人数 10 名でしたが参加者は、8 名、家族 4 人で参加してくれた方は、小学3年生と5年生の兄妹とその両親、みなさんピアノなど多少経験されているようでした。また、他の人は年輩者ですが熱心に我々のレッスンをうけ、楽しい時間を過ごせたとの評価を寄せてくれました。

内容は、最初に愛好会の合奏を聴いていただき、次にアコの説明、楽器の特徴を話し、楽器を使って「ぶんぶんぶん」の曲で右手、左手の音出しを行い、その後、右手の組、左手の組に分かれて合奏形式で演奏しました。その中の一人が我々が行っている初級教室に参加してくれることになりました。

また、この様子を知った「金沢区の区民活動センター」からも体験コーナーをやって欲しいと申し出があり、9月24（土）日行う事になりました。（寄稿：横浜アコーディオン愛好会）



愛好会による演奏



熱心に講師の話を聞く受講生



マンツーマンでの指導

実行委員会ニュース読者から近況報告

《個人》

アコーディオンの練習は何とか続けています。月に2回の個人レッスンは、楽しくもあり心待ちにしていますが、改めて基礎力のなさを感じています。「BASS-TEK」(FRANK・GAVIANI)という基礎的なベースの練習の譜面を先生からもらった時「これは、楽勝!」と思ったのですが、そんな思いはすぐになりました。「基礎練習が練習で終わらないように、曲の課題と結びつけるようにしましょう」と言われ、少しずつ取り組んでいます。いつか「愛のあいさつ」や「祖国よ さらば」などの演奏に生かされると良いのですが。

今年になって始めたことがあります。それは、近くの大きな公園で練習すること。近くのベンチに人がいないことを確かめて始めます。楽譜を風で飛ばされたことがあり、何とか覚えている曲(私の場合、暗譜とは言えない)を弾きます。人が通りかかると音が小さくなり間違えてしまい「すみません、下手で」と言い訳している次第です。ウォーキングなどで人が多いと、弾く勇気が出なくて、何もしないで帰って来てしまうこともあります。情けない野外演奏です。今のところ「ラストワルツ」と「愛の讃歌」「芭蕉布」は立ち止まって聞く人もいます。公園での練習は、カラオケ代の節約にもなるし、今後もびくびくしながら練習していくつもりです。

最近のお気に入りの曲は、個人レッスンの先生から紹介された「AIR APPARENT」(GUY・KLUCSEK)。印象に残った映画は「グリーン・ブック」(2018年アメリカ)ただし、映画の解釈をめぐってはコメントが多数)

仕事は非常勤なので、毎年のように更新や選考があり、その結果が届くまでは落ち着かない日が続きます。体が続くうちは、自分のためにも、アコーディオンのためにも仕事を続けるつもりです。

(小平市・山口)



..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

お知らせ

新型コロナウイルスの影響で、ライブや演奏会が延期あるいは中止になるケースが多くなっています。そのような状況から、暫くは、従来のような細かい情報は載せないで、演奏家やコンサート等のホームページへつながる紹介に切り替えることにいたします。

関心のある方は、ホームページなどを開いてみて確認していただければと思います。

..... ♪ タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』 ♪

<https://taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

..... ♪ JAPC アコーディオン夏祭り 2022 ♪ ◇ 帰ってきた生演奏会 ◇

日 時 2022年7月9日(土) 開場:11:30 開演 12:00 ※検温・消毒のご協力をお願い致します。

会 場 日暮里サニーホール JR・京成「日暮里」駅より徒歩2分

参加協力券 1,000円

主 催 JAPC 事務局(トノボ楽器製作所内) Tel.03-3802-2107

.....

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪ 第12回 爽やか高原コンサート in 戸隠 ♪ ◇音楽ロッジ開業 40 周年記念◇

「大田智美・中山英雄 アコーディオンライブ」

日 時 2022 年 7 月 9 日(土) 開場 18:00 開演 19:00

会 場 ロッジ・アコルデ(長野市戸隠 3681-3)

プログラム 《大田智美ソロ》J.S.バッハ:2 声のインヴェンションより、他

《中山英雄ソロ》ウクライナ民謡:広きドニエブルの嵐、他

《大田智美×中山英雄デュオ》J.ブラームス:子守歌/ワルツ作品 39-15、他

会 費 コンサートのみ参加:大人 3,000 円、中高生 2,000 円、小学生以下 1,000 円(各税込)

1 拍 2 食付+コンサート:大人 12,000 円、小人 10,000 円 夕食+コンサートのみ:大人

5,000 円、中高生以下 3,500 円 ※各いずれも 800 円のケーキ&ドリンクがついています。

主催・問合せ 音楽ロッジアコルデ Tel.026-254-3078 ホームページアコルデで検索

♪ かとうかなこ氏 ♪ <http://www.katokanako.com/index.html> ◇他はHPをご覧ください◇

「プチ万博」

日 時 2022 年 7 月 15 日(金)開場 18:45 開演:19:00

会 場 レソノサウンド 東京都豊島区巣鴨1丁目 3-3

出 演 かとうかなこ(アコーディオン)、青木研(バンジョー)

ゲスト 中原直生(イーリアンパイプス)

料 金 全席指定 一般 4,500 円 高校生以下 2,500

予約・問合せ レソノサウンド TEL:03-3945-5108 info@resono-sound.com

♪ 田ノ岡三郎氏 ♪ <http://tanooka.net> ◇その他のライブはHPをご覧ください◇

「ピアコパン 吉祥寺サムタイム アフタヌーンライブ」

日 時 2022 年 7 月 16 日(土) 14:00~昼公演です。

会 場 吉祥寺サムタイム

出 演 伊澤陽一(スチールパン) 太宰百合(ピアノ) 田ノ岡三郎(アコーディオン)

チャージ 2,000 円

こちらのページをご覧ください! <https://www.sometime.co.jp/sometime/>

♪ JAA 主催「アコーディオンの学校」(オンライン) ♪

全 3 回(オンライン)みんなの知らないアコーディオンの世界

受講料 1 回あたり一般 1,500 円 JAA 会員 800 円(全 3 回) ◇講師 柴崎和圭

申し込み 仲間を増やそう特設ページ <https://jaa2020acc.wixsite.com/project/gakki> から。

第 1 回開講(6 月 18 日) 第 2 回開講(7 月 31 日) 第 3 回(秋に公開予定)

♪ 「JAA サマーフェスタ」 ♪ ◇みんなで弾いて、聴いて、飲んで、楽しむ夏祭り◇

日 時 2022 年 8 月 6 日(土) 開演 12:00~たっぷり 3 時間(開場 11:45)

会 場 東京・渋谷「Casa Asteion」(カ・アスティオン)貸切 JR・東急東横線・地下鉄渋谷駅より徒歩 8 分

定 員 100 名(申し込み締め切り 7 月 15 日・日曜日 定員になり次第締め切り)

<https://jaa2020acc.wixsite.com/project>

事前申し込み・入金が必要。詳細は、上記 URL、QR コードからご覧ください。

会 費 一般 6,500 円 JAA 会員 5,000 円(充実のパーティ料理・ドリンク30種飲み放題)

ゲスト 田ノ岡三郎・大塚雄一・巡~MeguRee~

※マスク会食・検温・消毒など感染症対策にご協力下さい



..... ホワイトボード（連絡はがきその他より）
.....

♪「ともしび」のご案内♪ ◇新店に向けて新たな始動～あなたの街に歌声喫茶を～◇

日 時 2022 年 7 月 21 日(木) 14:00～16:00(開場 13:30)

会 場 なかの芸能小劇場 JR 中央線「中野」駅北口より徒歩 5 分

問合せ・申込み Tel:03-6907-2731 Fax:03-6907-3812 ※会場ではマスクを着用してください。

他の会場は HP でご覧ください。<https://tomoshihi.co.jp/> email:info@tomoshihi.co.jp

.....
♪レコード「ぼく・猫・プラタナス」発売記念ライブ♪

日 時 2022 年 8 月 12 日(金) 開場 19:00 開演 19:30

会 場 江古田 カフェ・フライングティーポット 東京都練馬区栄町 27-7 榎本ビル B1

出 演 小俣慎一(アコーディオン)

料 金 1,500 円(1ドリンク付)

問合せ カフェ・フライングティーポット/03-5999-7971

.....
♪大塚雄一氏♪ <http://www.hi-ho.ne.jp/acc-ohtsuka>

.....
♪後藤ミホコ氏♪ <http://www.mihoko-goto.jp>

You Tube「今の時期湿気でアコーディオンは泣いている」

.....
♪エツィオ・ギバウド氏♪ <http://www.ezioghibaud.com/>

.....
♪風のアンサンブルだより♪ <http://accordion-e-air.jp>

.....
♪「前橋アコーディオンサークル」のホームページが見やすくなりました♪

<http://maeaco.sakura.ne.jp> 検索→前橋アコーディオンサークル

.....
♪ベルギーのアコーディオニストで作曲家の エディ・フレシヤン (Eddy Flecijn) さん♪

ライブ画像 <https://www.youtube.com/watch?v=QfvLmhHJlPY>

.....
♪川越アコーディオンサークルたんぽぽ コンサート♪ ◇～平和への祈りを込めて～◇

日 時 2022 年 9 月 3 日(土) 開場 13:30 開演 14:00

会 場 川越西文化会館(メルト) 東武東上線「霞ヶ関」駅より徒歩 10 分

川越市鯨井 1556-1(Tel.049-233-6711)

演奏曲 「ウクライナ民謡」美しいミンカの主題による変奏曲”ベートーヴェン作曲」

「新秩父三抄」、「Let It Go」、「紡ぎ歌」、「アリラン」、「ひまわり」他

出 演 編曲・指揮 松永勇次、鶴原裕子(Pf.)、佐藤一人(Drs)、金澤優(Vo.)、

川越アコーディオンサークルたんぽぽ 会員 13 名

料 金 1,000 円 (小学生 500 円)

後 援 NPO 法人日本アコーディオン協会、川越市文化団体連合会

問合せ 090-5513-6293 (岡田)、wkckada@jcom.home.ne.jp

.....
次回実行委員会 (Zoom 会議) 2022 年 7 月 18 日(月・海の日) 19:00 時～

☆参加申し込み状況の把握、スタッフの確保、他

